

CasiLinkマニュアル

第2版（1998年8月7日）

現時点での最新バージョン（VER 0.80）に基づいて内容を更新しました。
ハンドル名をKAKERAからD.T.に変更しました。

事務的な事

お客様とのお約束

本ソフトウェアの使用によって生じたいかなる結果および損害に対して作者は責任を負いません。ユーザー登録された際、使用許可は登録者本人のみです。以上のことに同意された方のみ使用および試用してください。

開発環境

Macintosh LC630(36M)/MacOS 7.6.1(J)
/Metrowerks CodeWarrior P3(J) PowerPlant
/CASIO DK-E810/FA-110B

入手先

ソフト

D.T.のSOFT置き場 http://member.nifty.ne.jp/kakera_s/

マニュアル

D.T.のPDF置き場 http://www2.justnet.ne.jp/kakera_s/

ユーザー登録

本ソフトウェアの使用料金は1000円です。登録の際は以下の2点を行ってください。

1.口座への振込

1000円を以下の口座に振り込んでください。

東海銀行 覚王山支店 普通1412369 カケラ ソフト

2.メールの送付

D.T.(qzb00532@nifty.ne.jp)宛に付属の「ユーザー登録」を用いてメールを送ってください。

その他

転載自由(メールなしで、どうぞ御自由に)。ご要望、バグレポート、開発のヒントなどがありましたら御連絡ください。 D.T.(qzb00532@nifty.ne.jp)

Tableについて

CasiLink0.80,MapsUT0.60,MapsView0.65から、この3ソフトのTableに関するコードを共通化しました。

説明文章内でRow,Colを用いるのは、作者が行と列がどっちがどっちだか知らない為。何回決まりを調べ直しても自然な感覚にならなかったなので、行と列は使わないことに自分で決めた為。

ドキュメント

モードチェンジ文字列を持つタブ切りテキストです。

次のモードチェンジ文字列に出会うまで、そのモードを維持します。テキストファイルの最初にモードチェンジ文字列がない場合はそのファイルを読み込みません。

モードチェンジ文字列

ドキュメントの1行目（同一ドキュメントで数回出てくる事も有）は、どのモードで読めばいいか示します。モードチェンジ文字列は6文字「>>____」です。後ろ4文字が各モード固有です。この4文字はTableの左上のセルに表示されます。

モード	4文字
電話	Tele
メモ	Memo
スケジュール	Sche
名刺	Meis
カレンダー	Cale
私辞書	PDic

セルのチェック

「開く」または「受信」した後およびセルを編集をした後、セルのチェックが行われます。セルのチェックエラーには2種類あります。

赤エラー・・・文字と枠が赤色になります。フォーマットがおかしい場合などに起こります。原因がRow全体にある場合は左見出しにエラーが出ます。このエラーが出たセルが存在すると「送信」が出来ません。

黄エラー・・・セルの背景が黄色になります。「開く」の後に起こりうるエラーです。ファイル中の1セルバイト数が512バイト超の場合に起こります。このエラーはファイルとウインドウが一致していない事を示します。ウインドウ中のセルにはファイル中のセルの先頭から512バイト分のみがセットされています。このエラーが出てウインドウ中のデータを元に通常通りの振る舞いをします。

セルの編集

入力できるバイト数や文字種は各セルによって変化します。その制限でも除去しきれない場合、赤エラーになります。

編集状態の解除はReturnキー、Enterキーを押すかTable内の別部分をクリックするかすると行われます。

日本語インライン入力に未対応。2バイト文字のバックデリート後にUndoを行うと不具合が生じます。

Undo Redo

セル編集前のものとセル編集後のものの2種類のUndo Redoがあります。

セル編集後Undo RedoはRowの挿入削除、Colの削除が行われると無効になります。

Rowの挿入削除、Colの削除

見出しが選択されている場合、各削除コマンドが有効になります。ただし上見出しの内選択できるのは余分なColに対してのみです。

左見出しが選択されていない時のRowの挿入位置は一番下になります。

Col幅の変更

上見出し内のColとColの境界にカーソルを持っていくとカーソルが変化します。その場所からドラックするとCol幅が変更されます。余分なColに対してはCol幅の変更はできません。

改行の代理コード

電子手帳側の改行をタブ切りテキスト内で表現するために、改行の代理コードを用いています。以前用いていた0x0AではDos対応のエディタで開くと意図とは違うように表示がされます。日経MAC98年6月号p188の記事を参考にして0x0Bに変更しました。以前保存しておいた文書で改行の代理コードが含まれている場合は、置き換えてから「送信」してください。

Row全体の文字数

カシオ側の各項目は全角か半角の属性を持ち、1データの文字数制限は全角属性の項目の合計文字数が256文字までです。(電子手帳の制限の基準はバイト数ではなく、半角全角に関係なしの文字数です。また改行文字、次項目文字も文字数に含まれません。)

文字数が変化するような操作の後このチェックをし、違反している場合は左見出しを赤エラーにします。

カシオの次項目文字(0x0A)はマック側では除去し、送信する際は付加します。この消えている次項目文字も考慮に入れて文字数をチェックしています。

各モード固有な事について

カレンダーの休日

カレンダーの休日を電子手帳側ではテキストデータとして扱っていません。しかし汎用性の高いデータとして保存するのが作者の目標なので、マック側では作者独自の形式のテキストファイルとして扱います。

作者独自のカレンダーの休日データは5つのカラムからなります。カラム1はどの月のデータかを示します(ここは電子手帳と同じ)。カラム2-5は休日である日にちを示し、1の位を連結した文字列で表わします。カラム2は1日から10日用。カラム3は11日から20日用。カラム4は21日から30日用。カラム5は31日用。

例えば1997年5月の日曜、土曜、祝日のデータは次のようになります。

1997-05-01	3450	178	45	1
------------	------	-----	----	---

送受信

準備

1. カシオ電子手帳とマックの接続に関しては電子手帳のマニュアルを参考にしてください。
2. communications toolの「Serial Tool」を機能拡張フォルダに入れ、リスタートしてください。（Serial ToolはJtermやクラリスワークスなどに付属）

操作方法

送受信は電子手帳どうしの通信と似ています。つまり、「受信側と送信側で通信設定を一致」させ、「受信側を先に受信状態にしてから送信側で送信を実行」です。送受信の対象ウィンドウはメニュー選択時の最前面ウィンドウです。

送受信、設定ダイアログが表示されている間は機能が操作が制限されています（ウィンドウの切り替え、メニュー選択、AppleEventなど）

送受信はバックグラウンドでも行われますが、時間が余分にかかるようになります。（動作中の他のアプリに依存）

トラブルシューティング

1. もしも、異常な動作および終了をした場合は速やかにリスタートしてください。
2. プリンタポートを使う時AppleTalkがONになっているとCTBのアラートが出ます。セレクトでOFFにしてください。
3. CasiLink 0.5を使用されているお客様は書類のアイコンが表示されないかもしれません。CasiLink 0.5を消去してからデスクトップを再構築してください。

その他

特殊な文字

カシオ側の特殊な文字に対して何も処理していません。文字化けします。パソコン通信時と同様に文字を選んで使ってください。具体的には、電子手帳マニュアルの「記号入力」の節(DK-E810のマニュアルでは46ページ)に載っている表のうち次の例外以外の文字が化けます。

1.電子手帳の全角半角どちらの場所で使用されていても可

+ -=%¥\$&@,':;<>

2.電子手帳の全角の場所で使用されているときのみ可

、。 「 」 々 々

マック側では半角文字がある文字の場合、半角文字を使用してください。

未知のモード

受信ダイアログのポップアップで「デバッグ」を選択して受信を行うと、モード指定文字列を含む生の受信データがリストに表示されます。既知のモードであれば、対応するリストにデータが入ります。未知のモード(例えば外字モード)のデータは名刺モード(項目数が一番多かったので)にセットされます。なお「ノーマル」の時は未知のモードのデータは無視します。

モード指定文字列とデータの受信例を教えてください

作者の接続方法

MAC (Printer Port) ---0.5mのシリアル切替器---1.5mのケーブル---FA-110B
---0.3mのケーブル---DK-E810